

令和8年度 小田原市民活動・協働応援制度補助金交付事業一覧

<スタートアップコース>(上限10万円)

No	事業名	団体名	事業概要(企画提案書中「事業の概要」より転載)	交付額(円)
1	みんなも地球も守ろう！食と農の会事業	みんなも地球も守ろう！食と農の会	小田原市を中心に食と農、食卓と田んぼや畑をつなぎ、いのち溢れる地域を創造することを願って活動する。合言葉は、「土は生命の源」！私たちの近くで食べ物を作ってくれている人たちとつながり、誰もが、いつでも、どこでも、健康な食にアクセスできる食の自給圏をつくることを目指す。地域の農の出口として子どもと農のつながりとして給食の充実化をはかる。	100,000
2	「非農家が農家と協力し、休耕田を復田しつつ、田んぼのある生活を勤しむ」事業	非農家が農家と共に休耕田を復田する会	農家ではない市民が、農家と共に休耕田を復田し、田圃の復活と田園風景の保護に努めると共に僅かながら農家に携わる担い手を増やし、資源の活用と自主的な食の確保を目指す。 非農家: 耕耘の補助、田植え(手植え)、草取、稲刈(手刈り) 農家: 耕耘・代掻き・苗提供・脱穀・乾燥・稲摺(玄米にする作業) 1. この活動に賛同し休耕田を復田する非農家や協力する農家を増やす活動を行う。 2. 非農家が農家と共に休耕田を復田することに対する情報提供・支援活動を行う。	100,000

<ステップアップコース>(事業費の70% 上限20万円)

No	事業名	団体名	事業概要(企画提案書中「事業の概要」より転載)	交付額(円)
3	高齢者の豊かな生活の実現・子どもに命を慈しむ大切さを伝えるための猫を通じた啓発イベント	Human&Animal Network	高齢者の急な入院や逝去に伴う飼猫に関する相談や保護依頼が増加する一方、健康な高齢者の中には猫の飼育を希望する方も多い。猫とのふれあいイベントなど新しい取り組みを通じて、高齢者が動物に関わることによる豊かな生活の実現に向けた可能性を探っていきたい。子どもに関しては、野良猫ゼロの未来を実現するための担い手なので、楽しめる啓発イベント(子供向け獣医師セミナー、読み聞かせ等)を通じて、動物を大切にすることを早い段階から育成することに寄与したい。	200,000
4	てらとわイベント事業	てらとわ実行委員会	寺社仏閣を起点にした、地域住民、多世代交流の場づくりとして、以下を実施する。 ・寺社仏閣を会場にしたお祭りの開催 ・地域住民・学生・出演者・出店者との交流・コミュニティ活動	200,000
5	かもフェス2027 Spring	かもフェス実行委員会	鴨宮北口商店街にて、地域の商店の出店や子どものあそび場等を設けてゆっくり楽しむイベントを開催する。 商店が並ぶかつての風景から、シャッターの下りた店舗や高齢化・担い手不足により閉店を考えている店舗が増えている商店街に、にぎわいと活気を一時的に創出し、参加者はもちろん、地域住民や今も残る地域の商店などに体感してもらうことで、地域の中ににぎわいがある暮らしの良さや楽しさといった価値を見直してもらうきっかけとし、新たな暮らしの風景を創る。	200,000
6	舞台「未来酒場のライブ」上演と対話の場づくりによる移住定住促進事業	未来酒場	自身が国府津の表現活動に惹かれ移住した実体験をもとに、舞台『未来酒場』の上演と、参加者が「やりたいこと」を展示・実践できるワークショップを同時開催する。鑑賞による感動体験と、ブース出展等の実践の場をセットで提供することで、地域コミュニティとの深い交流を創出。単なるイベント参加から関係人口を深化させ、将来的な小田原への移住・定住促進につなげる。	200,000

<市民タイアップコース>(事業費の70% 上限30万円)

No	事業名	団体名	事業概要(企画提案書中「事業の概要」より転載)	交付額(円)
令和8年度該当事業なし				

<市民×行政コラボアップコース>(事業費の90% 上限30万円)

No	事業名	団体名	事業概要(企画提案書中「事業の概要」より転載)	交付額(円)
7	子育てと地域をつなぐまちの居場所拠点モデル事業	わってらか／小田原市子育て政策課	歴史・自然などの魅力多い小田原市は、移住者が急増し、子ども・親子の居場所の不足、新旧住民の関係づくりが地域課題である。わってらか(2021年より地域であそび場開催等の活動)は、2024年度に歴史資料館「十字町ヒストリア」を引き継ぎ、育児の孤立をなくし、親子・子どもと多世代の地域の人をつなぐための常設のまちの居場所拠点として運営している。本事業では、わってらかと行政が協働で、この居場所拠点をモデルとして、以下に取り組む。 1. 居場所拠点における子育てと地域をつなぐ実証的な場づくり(6回) 2. 子育てと地域をつなぐ居場所拠点に係る対話会(2回) 3. モデル事業の報告書とりまとめ	300,000
8	いじめのない社会へ「いじめストップ！ピンクシャツデー」事業	ピンクシャツデー小田原実行委員会／小田原市人権・男女共同参画課	カナダで生まれ世界中に広がっている「いじめ撲滅運動」のピンクシャツデー。ここ小田原でも、市民に「いじめをなくそう」という意識向上を促し、さらなる意識醸成、多様性社会、共生社会の啓発を目的とし、ピンクシャツデー チャリティイベント「いじめストップ！ピンクシャツデー」を開催。トークや音楽、朗読など文化事業的要素の高い企画に「トークセッション」などを盛り込み、いじめのない社会づくりを啓発。朗読する文章や詩は「いじめのない共生社会」をテーマに公募し、子供から大人まで多くの人に考えてもらう機会とする。これらをしあわせのタネ小田原実行委員会、小田原市人権・男女共同参画課と協働で行い、いじめのない共生社会を目指す。	300,000
9	福祉×教育×介護クロスオーバーフェスタ！～ケアする人をケアするつながりは無限大∞～	一般社団法人 MilkyWay with ゆりゆりルーム／小田原市子ども若者支援課	本事業はケアラー支援と不登校支援・療育支援を横断的に結びつけることで、地域に新しい共生モデルを生み出す先駆的取り組みである。専門職を含む市民団体・行政・企業が協働し、あらゆる人たちに発信することで、持続可能な支援体制を構築し、孤立を防ぎ、誰もが安心して暮らせる小田原の未来を築いていく。	260,000
10	野外彫刻メンテナンス事業Ⅱ	おだわらミュージアムプロジェクト／小田原市文化政策課	上府中公園には1990年に開催された小田原城野外彫刻展の入選作品10点が展示されている。昨年度おだわらミュージアムプロジェクトおよび一般市民、行政との協働により、作品「エッサ・ホイ・サッサ」を洗浄・再塗装をし、設置当時の状態に復元した。今年度も作品メンテナンスと鑑賞ツアーを実施する。なお、上府中公園の指定管理者である一般社団法人小田原市事業協会には、本事業について理解いただき、実施にあたっては、施設管理者として可能な範囲で協力頂ける旨の了解を得ている。	117,000

※順番は、コース別・応募順です。

交付額合計 1,977,000
※予算額 2,000,000